

## より良い教育のために

### 教育委員再任

9月19日の町議会本会議で、教育委員として中尾精一さん(中島)が再任され、10月6日に金田町長から辞令交付が行われました。教育委員会は町と意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有しながら協議していきます。

中尾さんは「子どもたちのための活動を教育委員一丸となって進めたいと思います」と抱負を語りました。より良い教育のためよろしくお祈りします。



今回再任された中尾精一さん(中央)

## 老若男女が楽しめるモルック

### 第1回モルック町民大会開催

フィンランド発祥のスポーツ「モルック」の第1回町民大会が10月10日、町運動公園で行われ、24チームの約80人が競いました。

大会の最年少参加者は6歳、最年長参加者は72歳と、幅広い年齢層の人が一緒に楽しみ、初心者でも始められるスポーツがモルックです。

参加者は、マスクの着用、大会前日と当日の体温管理など感染症対策を行いながら、試合を楽しんでいました。



木製のピン目掛けてモルックという木の棒を投げる

## 高校生がDJポリスに変身

### 秋の交通安全運動

翔陽高校の生徒がDJポリスとして警察車両のマイクを握り、翔陽高校入口交差点で通行車両や歩行者に交通安全を呼びかける運動を9月14日に行いました。

2年連続で行っているこの運動は、秋の全国交通安全運動の一環として、大津警察署と翔陽高校が協力して行い、5人の生徒が順番にマイクを握りました。

DJポリスを経験した交通委員長の小西美鈴さん(吹田)は、「窓を開けて聞いてくれる人がいたので良かったです」と話しました。



警察車両の上から呼びかけや沿道で旗振りをする生徒たち

## いのちを守る黄色いベスト

### 大津中学校に安全ベスト贈呈

大津中学校学校運営協議会委員の宇佐川照孝さん(大林)による安全ベストの贈呈式が9月30日、大津中学校で行われました。生徒たちの登下校中の事故防止を願う地域の声もあって、今回大津中学校に1000枚の安全ベストが贈呈されました。

今後の生徒たちによる率先した活用については、生徒会が進んで啓発をしていくとのことで、生徒会長の松岡慶龍さん(陣内)は、「生徒たちの意見を集約して活用していきたい。ベストを実際に着てみて、軽くてゴムが伸びるので荷物が多いときでも着やすい」と話しました。



贈呈した宇佐川照孝さん(左)とベストを着用する生徒会と校長先生

## 手に汗握る熱いレース

### 第6戦HSR九州大会開催

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ第6戦HSR九州大会が、10月9日、10日の2日間、HSR九州のオフロードコースで開催されました。起伏に富んだコースで速さと技術を競うこの大会には、感染症対策を行いつつ多くの人々が訪れました。急カーブで砂埃を巻き上げながら素早く切り返し、地形に沿ってダイナミックにジャンプをする度に歓声が上がりました。



子どもから大人まで熱いレースが繰り広げられました

## サッカーで子どもたちを元気に

### 町内小学校にサッカーボールを寄贈

「1ゴールアシスト5」プログラム贈呈式が10月14日に町役場で行われました。「1ゴールアシスト5」とは、ロアッソ熊本と熊本トヨタ自動車(株)との共同事業で、熊本県内の子どもたちがスポーツで健康になることを目的とし、「熊本トヨタハイブリッド基金」よりロアッソ熊本のリーグ公式戦における1ゴールにつきサッカーボール5球を熊本県内の小学校に贈呈するというプログラムです。

贈呈されたサッカーボールについては、町内の7つの各小学校に寄贈されました。



左から吉良教育長、金田町長、熊本トヨタ自動車(株)井原宏代表取締役社長、(株)アスリートクラブ熊本永田求代表取締役社長

## 大きくなってきてもどってきね

### 大津東小学校の児童たちによるキジ放鳥

(一社)熊本県猟友会が主催している児童たちによるキジの放鳥が猟友会大津支部の支援のもと外牧区で、10月2日に行われました。

町での児童たちによる放鳥は初めての試みで、キジの生息地として田園が広がり雑木山の近くが適していることもあって町東部の外牧区の畑から35羽のキジを放鳥しました。参加した大津東小学校の児童たちは「最初は怖かったけど、キジを放すときが楽しかった」「また来年もやりたい」と、最初は怖がっていた児童たちも楽しく参加していました。



空に向かって畑からキジを放ちました

## ボランティアできれいな町に

### 建設業組合が社会貢献活動

町の建設業組合が主体となり、電気・機械設備組合、造園組合の103人が参加して、町道、県道沿いの草刈りや側溝の清掃などを10月6日に実施しました。毎年、同組合が社会貢献活動として自主的に取り組んでいるものです。

出発式では、代表の宇都宮義次組合長のあいさつの後、金田町長にボランティア計画書が贈呈されました。宇都宮組合長は「町民の皆さんが気持ちよく安心して暮らせるよう、安全できれいな道路として使ってもらいたい」と話しました。



役場庁舎前で行われた出発式

高所に伸びた枝の伐採